



2022年7月1日

会員各位

垂水ゴルフ倶楽部  
キャプテン  
ハンディキャップ委員長

ワールドハンディキャップシステムの導入によるクラブハンディキャップへの影響について



これまで世界中には、6の異なったハンディキャップシステムが存在していましたが、このたび世界中でそのシステムを統一し、ワールドハンディキャップシステム(WHS)として採用されるようになりました。

日本においても去る4月7日より、WHSが、日本ゴルフ協会により運用が開始されました。本導入により当倶楽部におけるハンディキャップがどのような影響を受けるかご案内いたします。

現在当倶楽部では、従来よりUSGAの計算方式に基づき、査定されたコースレーティング等をベースに各会員一人一人に算出されたインデックスを参考として、倶楽部独自のクラブハンディキャップを決定してきました。クラブハンディキャップの採用は当面変更いたしません。今回の変更は、その会員一人一人に算出されるインデックスに少々影響を与える変更となっております。

従来のUSGAインデックス計算との主な変更点

1. 新しくハンディキャップを取得するための最小カード枚数が3枚(54ホール)となりました。
2. 提出されたカード20枚のうち、ベスト8枚が採用されます。
3. 提出されたスコアカードの更新は、提出(登録)された翌日に逐次反映されます。

尚、上述以外にも細かい変更点がありますが、基本的には、従来のシステムと比べ、コースの難易度、プレー日の条件等々による影響をより反映されるように設計されたシステムとなっております。

本変更により、クラブハンディキャップにも若干の影響が出ており、今回2022年下期のハンデ改正にてその修正を行いました。今後、WHSへの全面移行も視野に入れており、今回の改正はその過渡期におけるものであることをご理解をいただきますようお願いいたします。

ハンディキャップ委員会では引き続き会員の皆様が楽しく、公平にプレーをお楽しみいただきますよう努めてまいります。

皆様におかれましてはどうぞ個々人の技量をできるだけ正確に反映するためにも、プレー後のスコアカードの提出にご協力をお願いいたします。

以上